



Rondokaya

平成31年1月実施

事業者向け

Rondokaya 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			子どもたちが活動するための十分なスペースが確保されている。運動系の大きな動きのあるプログラムは公共施設を活用し、事故の無いよう工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			支援に必要な職員数を確保。支援の質向上に向けて研修や情報共有をおこなう。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			スタッフミーティングで当月の取り組みについて職員で反省点や改善点を討議している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			今年度実施したアンケート結果を職員全員に配布し、周知した。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在は外部評価を行っていないため今後の課題である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			内部研修について30年度2回目の研修を2月に予定。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			相談支援員のアセスメントシートを活用しながら、保護者の方に利用契約時などで十分に時間を確保しニーズの把握に努めている。定期的な面談を通じて再アセスメントを行う。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			5領域11項目を活用しながら適応行動の状況を図っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			イベントミーティングを月1回開催し、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			平日：身辺自立(個別)(集団)・コミュニケーション(個別)(集団)のテーマに沿ったプログラムを各週おこなっている。 休日長期休暇：ダンス・調理・季節行事など1時間程度の活動プログラムをおこなう。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			1か月のメニュー表を作成しプログラムを設定。利用者に配布し、希望に沿って参加してもらう。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者や本人の希望を取り入れながら個別活動・集団活動を組み合わせサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			<input type="radio"/>	始業時または随時連絡を取り合い、事前の準備を行っている。職員間で担当者を前もって決めてプログラムを取り仕切っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			<input type="radio"/>	話し合いによる振り返りはできている。記録に残すことを意識づけていくことが課題。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			主観的にならず誰が読んでも伝わる文章を心掛けながら記録をとっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援会議での本人の現状把握をもとに個別支援計画の見直し、作成をおこなっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			特に土日の余暇支援では公共施設や地域のお祭りへの参加など地域資源を使ったプログラムを実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者、場合によって常勤支援員が参画し情報共有をおこなっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			渋滞によるスクールバス遅延の場合、特別支援学校より電話連絡をいただく。また前月に事業所の利用予定者表をFAXし送迎の間違いが発生しないよう連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援事業所を通じて情報交換している。直接の交流の機会を増やすのが今後の課題。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高校卒業後、同法人内のB型事業所へ就労した際、事前に本人の様子をマネージャー会議等で情報共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今後の課題。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		放課後児童クラブを併用している利用者を通じて交流を図っていききたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			諏訪圏域自立支援協議会療育支援部会に参加。フォーラム実行委員など務めた。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時などで利用中の様子を伝えるとともに学校や家庭での様子を聞き本人の発達状況や課題を共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			子育ての悩み相談の助言は行っている。今後具体的なペアレント・トレーニングに発展させていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明をおこない、質問があれば随時受け付けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			職員が時に保護者対保護者の目線にたち、現在の悩みや将来について相談できるような関係づくりをおこなっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		親子遠足や発表会などのプログラムで父母が参加。来年度保護者同士の交流の機会を作っていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合窓口係を設け、適切な対応ができるよう努めている。報告書を作成し周知を徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページやブログで活動内容を報告。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			利用者の個人ファイル等個人情報となりえる書類は鍵付きの書庫に保管するなど取り扱いに十分な配慮を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			場合によって絵カードや予定表を用いて視覚でもわかりやすいコミュニケーションを図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏祭りの際、地域住民へチラシを配布し参加していただいた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			適宜事務室に掲示し、職員への周知を徹底している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			30年7月と10月に避難訓練実施。(火災を想定)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			31年1月に職員全体で実施し、虐待防止について共通理解した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのある子どもについては、医師の指示書にもとづき、保護者から聞き取りをおこない、安全に食事ができるよう十分な配慮をおこなう。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で起きたヒヤリハットは共有できている。報告書にまとめ周知を徹底していく。